様式第６号の２の１　　日付印

※離婚した父母が別居している場合は、児童の生計を維持する程度に関わらず、児童と同居している方が受給者となります。離婚し、児童と別居した場合は、別居監護申立書ではなく、消滅届の提出が必要となりますので、こども支援課までご連絡ください。

記入例

児童手当　別居監護申立書

（申立先）新座市長

私は、別居している児童を監護し、かつ、生計を同じくしている又は生計を維持していることについて、下記のとおり申し立てます。

記

１．別居している児童について

フリガナ 児童の氏名	個人番号 （マイナンバー）	続柄	生年月日
ニイザ　タロウ 新座　太郎	1 1 1 1 2 2 2 2 3 3 3 3	子	令和 4 年 1 月 1 日
			年　月　日
			年　月　日
児童住所：△△県◎◎市□□５丁目５番５５号			

※申立人が公務員の場合又は当該児童の個人番号を記載した別居監護申立書を既に提出しておりその状態が継続している者の場合には、個人番号欄の記載は不要。

２．別居している児童の属する世帯について

フリガナ 世帯主の氏名	児童からみた世帯主の続柄
ニイザ　ハナコ 新座　花子	母

３．別居の理由について

（１）仕事の都合上、単身赴任をしているため

（２）児童の進学、通学のため

（３）その他（母の介護により、母子が妻の実家で暮らすため　　）

４．別居期間

令和●年●月●日　から　令和●年●月●日までを予定

５．監護、生計同一又は生計維持の状況（面会、仕送り等について）

定期的な面会や、電話等での連絡を取っており、生活費等の仕送りをしている。

令和　●年●月●日

【申立人】（児童手当の請求者・受給者）

住所　新座市野火止一丁目１番１号

氏名　新座　一郎

受給者の記入必須